

令和2年度第3回研究推進委員会(放射線安全規制研究戦略の推進事業)

議事概要

1. 日 時 令和3年3月2日(火) 10:50~16:20

2. 場 所 原子力規制委員会 庁舎内

3. 出席者

原子力規制委員会 担当委員

伴 信彦 原子力規制委員会委員

外部有識者(五十音順)

石川 徹夫 公立大学法人福島県立医科大学 医学部 教授

高橋 知之 国立大学法人京都大学 複合原子力科学研究所 准教授

古田 定昭 株式会社ペスコ 中部事務所長

原子力規制庁職員

小野 祐二 放射線防護企画課 課長

村山 綾介 監視情報課 課長

宮本 久 安全規制管理官(放射線規制担当)

高山 研 放射線防護企画課 企画官

三橋 康之 放射線防護企画課 企画官

重山 優 放射線防護企画課 企画調査官

菊池 清隆 監視情報課 企画官

大町 康 放射線防護企画課 課長補佐

小林 駿司 放射線防護企画課 係長

本間 俊充 放射線防護企画課 放射線防護技術調整官

中村 尚司 放射線規制部門 技術参与

外部有識者(オブザーバー)

占部 逸正 学校法人福山大学 名誉教授

二ツ川 章二 アルファ・タウ・メディカル株式会社 Radiation Safety Officer

4. 議 事

(1) 新規課題の採択に係る審査 [2次審査]

- ① 重点テーマ「重点テーマ「放射線防護に係る中長期的課題への対応に向けた
フィジビリティ研究」
- ② 重点テーマ「原子力災害時の放射線モニタリング技術・分析技術に関するフ
ィジビリティ研究」

(2) 継続課題の採択に係る審査

(3) その他

5. 議事要旨

- 今回の会合では、提案者の研究に関わるアイデア及びノウハウに係る議論をするため、研究推進委員会に関する設置運営要領第8条に基づいて非公開の扱いとし、議事概要のみを公表することとした。また、出席した委員は、申請書を通して知り得たこと及び議論の経過について守秘義務が発生していることを確認した。

- 令和3年度新規課題の採択について、次のようにヒアリング審査を実施した。
(ヒアリング対象の内訳)
重点テーマ①：2件
重点テーマ②：4件

- ヒアリングを実施した課題について審議した結果、4件を採択することを決定した。ただし、採択した4件のうち1件を条件付き採択とした。

- 今後、採択された課題を公表するとともに、それぞれの課題を担当するプログラム・オフィサー（PO）等の確認等の作業を事務局において実施することを確認した。

- 令和3年度に継続予定の5件について、研究の継続を審議した結果、A評価の課題については当初の予定通りの計画で、B評価の課題については評価を踏まえて一部修正した計画で、それぞれ事業を継続することを決定した。

- 研究計画については、研究評価委員会の評価コメントを踏まえ、また、PO及びPO補

佐とよく相談の上で策定することとした。この相談の過程において、研究課題「福島原発事故の経験に基づく防護措置に伴う社会弱者の健康影響と放射線リスクの比較検討に関する研究」に対するコメント（大気輸送・拡散・沈着モデル（ATDM）を用いたシミュレーションによる被ばく線量評価においては、WSPEEDI_2018DBを使った評価）に対し、担当POである本間委員より、本研究における被ばく線量評価は福島原発事故の再現計算を意図したものではなく、様々な気象シナリオについて潜在的な影響を確率論的に検討するものであるため、本研究の計画に合致しないのではないかとの意見が出された。本意見は、研究推進委員会事務局から研究評価委員会に伝えることとした。